

## 1 沿革

昭和39年10月	公害課の1係として、旧衛生研究所建物（横浜市南区中村町）に検査測定係を設置
昭和43年 4月	検査測定係を母体として公害センターを新設し、企画普及課、大気課、水質課、騒音課の4課20名で発足
昭和45年 7月	従来行政機関であったものを研究機関に改め、企画普及課、大気科、水質科、騒音科とし、同月に特定有害物質、重金属を担当する特殊物質科を新設
昭和45年10月	川崎支所を県工業試験所川崎支所内に、湘南支所を寒川町の県企業庁水源事務所内に、それぞれ設置
昭和47年 1月	本所、各支所の新庁舎建設に着手していたが、湘南支所の庁舎が平塚市豊原町に完成
昭和47年 3月	本所の移転拡充が衛生研究所の拡充と同時に進められ、横浜市旭区二俣川に新庁舎が完成、同年5月から業務開始
昭和47年 4月	川崎支所を京浜支所と改称。大気部、水質部の部制をしき、企画普及課を管理課、騒音科を騒音振動科と改称
昭和47年 5月	本所を横浜市旭区二俣川に移設し業務開始
昭和47年11月	京浜支所庁舎が同敷地内に完成
昭和48年 7月	研究業務の企画調整、普及指導業務の強化を図るため企画指導室を新設 京浜支所に大気科を、湘南支所に大気科と水質科をそれぞれ設置
昭和49年 8月	京浜支所及び湘南支所に管理課を設置
昭和56年 6月	京浜支所を特殊環境部（川崎駐在）同所の大気科を特殊環境科とし、管理課を本所管理課に統合
平成 3年 4月	公害センターを、環境科学センターとして改組し現在地で発足 従来の川崎駐在事務所、湘南支所、大気汚染監視センター（本庁）及び廃棄物研究部門（衛生研究所）を統合拡充するとともに、県民の環境学習のための施設等を整備
平成 3年 7月	落成式 環境学習施設、環境情報監視システム本格稼働
平成13年 3月	環境科学センターの地下1階に、ダイオキシン分析施設を整備
平成14年 1月	環境学習施設の一部を改修し、新たに実習室を整備
平成15年 6月	1課5部の組織を1課4部（管理課、企画部、環境保全部、環境技術部、情報交流部）へ再編

## 2 運営概要

### 2.1 所在地

〒254-0014 平塚市四之宮1丁目3番39号  
電話 0463(24)3311  
FAX 0463(24)3300

### 2.2 敷地及び建物

敷地	敷地面積	4,218.28 m <sup>2</sup> (H7.2.10 995.12 m <sup>2</sup> 増)
建物	延床面積	7,098.10 m <sup>2</sup>
本館棟	鉄骨鉄筋コンクリート造	地下1階、地上4階 7,048.80 m <sup>2</sup>
付属棟	鉄筋コンクリート造	地上1階 49.30 m <sup>2</sup>